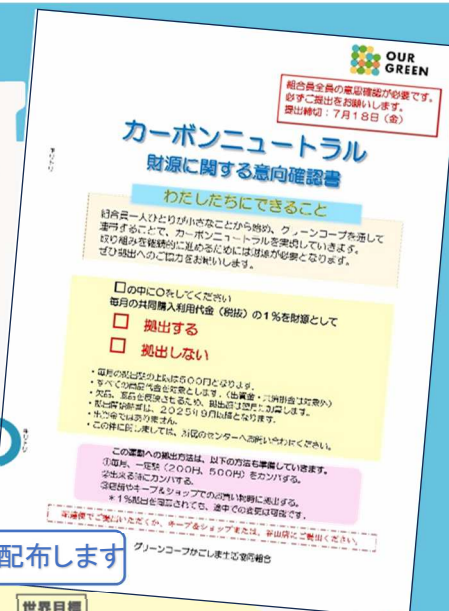
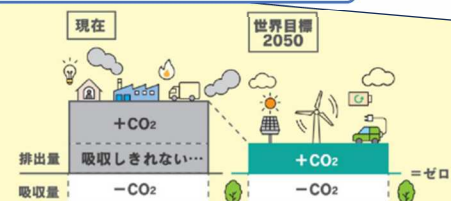


6月23日より

## カーボンニュートラルを実現させるための財源拠出ご協力の案内をお届けいたします

※6/23 週より全組合員に配布します

カーボンニュートラルとは、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガスの排出量と、森林などの温室効果ガスの吸収量をイコールにすることで、合計を実質ゼロにすることです。



## 01 2027年までに「温室効果ガス排出ゼロ」を実現させます！

グリーンコープを利用することで  
無理なくできるカーボンニュートラル



## 02 組合員さんへのお願い！実現させるには財源が必要です。

グリーンコープは、カーボンニュートラルの実現に向けて大きく前進しています。  
地球を温暖化から守るためには一人ひとりが温暖化を意識して生活することが必要となってきています。  
みどりの地球をみどりのまま子どもたちへ手渡すためにも、ぜひ拠出へのご協力をお願いします。

## 03 拠出内容

- 同意した組合員が毎月の商品代金より1%を拠出します。
- すべての商品代金を対象とします。(出資金・共済掛金は対象外)
- 欠品、返品を反映させるため、拠出額は翌月に加算します。
- 2025年9月以降からの引き落としとなります。

## 報告

カーボンニュートラルを進めるためには、温室効果ガスの排出を抑えるだけでなく、植林や森林を管理することによる「吸収」も大切です。

3/7(金)の理事会では、「森と木の研究所」大坪代表より「森林吸収源の基礎知識」についてお話を伺いました。

日本はフィンランドに次ぐ世界第2位の森林大国です。  
森に樹齢の進んだ木が多いと豊かな森と思われそうですが、50年を過ぎた老木はCO<sub>2</sub>を吸収できず、逆に排出してしまうそうです。また、倒木も腐るとCO<sub>2</sub>を出し続けるため森を育てるためには木を切って木材を利用し、植林を繰り返す事が大切です。  
商品選びには、「カーボンフットプリント」を意識し、商品の作られる過程から、物流・廃棄までの流れの中で排出されるCO<sub>2</sub>を考えると環境への関心も高め、物を大切にする気持ちも育ちます。グリーンコープは組合員とともに植林の取り組みも進めています。



## 報告

2/28(金)霧島りすの森保育園で「もちものをたいせつにじゃんけんゲーム」を開催しました

「もちものをたいせつにじゃんけんゲーム」はグリーンコープの「金銭教育事業」の取り組みのひとつとして、FP円縁のファイナンシャルプランナーが進めています。  
就学前の幼児と保護者に向けて、お金の使い方を教える前に「物を大切にすること」を目的に取り組んでいるため、霧島りすの森保育園でも取り入れています。



子ども3～5名でグループを作り、講師から「お金は物と交換できる」「お金には大きさがある」「貯金ができる」などを学び、ゲームを通してもちものを大切にすることを学びます。

子どもたちからは「楽しかった!」という感想も多く、勝ち負けの結果に注目しがちなじゃんけんゲームではなく、講師から「じゃんけんに負けても、それも大切な経験」「その経験を乗り越えられた頑張り屋さん」という言葉掛けがあり、どの経験にも意味があることを学ぶ機会となりました。今回は5歳児を対象とした開催で集中力が持つか心配でしたが、楽しみながらお金の概念と物を大切にすることが学べる内容になっていて、最後まで楽しめました。